

山口よし子作 「アルバイト」

効果音 (終業のベル)(教室のガヤ)
先生 静かに！ ではこれで終わりにする。
伊藤由孝 起立。さようなら。
一同 さようなら。
効果音 (ガヤ)
今村和彦 あ～あ、疲れた疲れた。おい、帰ろうぜ。
効果音 (通りの雑踏)
小野寺主行 おれよ、昨日ロックのLP買ったんだぜ。すっごくイカすんだ。
今村 ほんとかよ。今度おれにも貸してくれよ。
小野寺 うん、いいよ。明日、学校に持って行くよ。
伊藤 ところで、今村は今、何に凝っているんだよ？
今村 もちろんバイクさ。あんなに楽しくて、スリルが味わえるのは、ちょっとないぜ。
高橋秀哉 いいよな、今村は。バイトしてんだろ。小遣いとバイトの兼ね合わせれば、バイクでもなんでも買えるもんな。
今村 まあな。でもバイトしてお金が入る時はうれしいけど、ものすごく疲れるんだぜ。
小野寺 ところでおれよ、映画の招待券あるんだけど、今度の日曜、見に行かねえか？
高橋 行く行く。日曜はおれ、いつも暇だからよ。
今村 おれもいいぜ。
小野寺 おい、伊藤。お前はダメなのか？
伊藤 うん。悪いけどまた今度誘ってくれよ。
小野寺 付き合い悪いな。でも行かれないなら仕方ねえな。
伊藤 じゃあまたあした。
一同 「またな」「グッバイ」
効果音 (伊藤の家のドアが開く音)
伊藤 (疲れた声で)ただいま。
父親 あ、お帰り。今日はいつもより遅いんだな。
伊藤 うん。生徒会役員の集まりがあったんだよ。
ナレーション なんだか伊藤君は元気がないようですね。学校から帰ると、部屋に閉じこもっちゃいました。
伊藤(モノローグ) みんな自分の好きな子としているんだな。欲しいものがあればそれを買って、休みなれば遊びに出かけるし、いいよな。おれなんかなんにも持っていないし、毎週日曜日は一日教会だもんな。
父親 由孝！ 電話だぞ。今村君からだ。
伊藤 うん、今行く。
伊藤 もしもし。
今村 (フィルター音)あ、おれだよ。帰りに話し忘れちゃって、今電話したんだよ。
伊藤 なんだ、話って？

今村 (フィルター音)おれ、マーケットでアルバイトしてるだろ。それで、店長から、「今、人手不足だから、日曜日だけでいいから」って頼まれちゃったんだよ。それで、お前の顔が浮かんだってわけさ。

伊藤 でも、おれ、日曜は教会に行ってるんだ。

今村 (フィルター音)いいじゃねえか。自分の欲しい物は買えるし、お前だって、「ギター欲しい」って言ったろ？ 一緒にやろうぜ。いいだろう？

伊藤 そうだな。…じゃ、やってみるよ。

ナレーション そして次の日曜日。伊藤君は教会を休んで、生まれて初めてのアルバイトに行ったのです。

店長 早速だが、この荷物、奥の売り場に運んでくれ。落っこさないようにな。

伊藤 はい。

店長 おい、伊藤君。ここじゃダメだ！ お客様の通り道じゃないか。もっと住みのほう！ 早くしてくれ。さ、今村君も手伝って。

伊藤・今村 はい！

店長 よし、そこがすんだら伊藤君、卵と野菜の在庫を調べてくれ。正確にな。それで今日の仕事は終わりだ。

伊藤 はい。

伊藤(モノローグ) (ため息)働くって、疲れるんだな。

今村 そりゃそうさ。でも、その分お金になって返ってくるんだぜ。

伊藤 まあそうだな。

ナレーション こうして、伊藤君の新しい体験が始まりました。

一方、伊藤君の通っている教会では、彼のことを心配している様子です。

須内泰子 ねえ、今日もまた伊藤君、来なかったわね。これで3週間目よ。一体どうしたのかしら。

小野寺 うん、そのことでおれも心配しているんだ。

高橋 おれ、今度の日曜日、誘ってみるよ。

須内 わたしも手紙を出すわ。

小野寺 そうだな。牧師先生も心配しているからな。

ナレーション そんな教会の友達心配も知らず、伊藤君は、一生懸命働きました。でも仕事は楽ではありませんでした。一日が終わるとぐったりしてしまい、何も考える力がありません。2週間、3週間たつうちに、あれほど熱心に読んでいた聖書や祈りからも遠ざかってしまい、心の中にむなしさが募ってくるのがはっきり分かるのでした。それでも、もう少しでギターが買えると思って彼は頑張りました。そして1か月。今日は待ちに待った給料日です。ところが――。

効果音 (マーケットのガヤ)

店員 おい、伊藤君。そこにあるケースを全部ここに並べてくれ。

伊藤 はい、今やります。

効果音 (「ガチャーン」とケースを落とす音)

伊藤(モノローグ) しまった！

店長 なんということをしてくれたんだ。売り物なんだぞ。一体どうするんだ？

伊藤 すみません。本当にすみません。

店長 しょうがないな、全く。早く片付けてくれ。その代わり給料から少し差っ引いておくぞ。

伊藤 (しょんぼりと)はい。分かりました。

今村 伊藤、そんなに気にするなよ。だれだって失敗はあるんだ。これから気をつければいいじゃないア k。

伊藤 うん。

ナレーション あれほど楽しみにしていた給料は、3分の1近くも引かれていました。これではとてもギターなど買えません。でも、無理に頼み込んでアルバイトを許してもらった父親に、そんなことは言えません。鉛のように思い心で彼は家に帰りました。

伊藤 ただいま。

父親 ずいぶん遅かったじゃないか。もう9時だぞ。どうなんだ、アルバイトは？ うまくやっているのか？

伊藤 まあね。でも疲れるから何もできないよ。勉強どころか、宿題も満足に終わらないんだ。

父親 ほれ見ろ。だから言わないこっちゃない。まあ泣き言を並べるくらいなら、初めからやらんことだな。ところでかれこれ1か月。今日辺り、給料出たんじゃないのか？

伊藤 うん。でも父さん、おれ、うれしいような疲れたような変な気持ちだよ。やる前は、この日が早く来ればいいと楽しみにしていたのにな。

父親 ま、働くっていうのは、そういうものかもしれないぞ。ところで、お前は何を買うんだ？！

伊藤 ギターを買おうと思っていたんだけど、それほど欲しくなくなっちゃったんだ。まあゆっくり考えて決めるさ。おれ、宿題残ってるからやってくるよ。

ナレーション 逃げるように2階の自分の部屋に入ると、伊藤君は寝転がって天井を見上げました。

伊藤(モノローグ) アー疲れた。おれ、なんのためにバイトなんかやったんだろ。教会のみんな、どうしてるかなあ。あ、そうだ、須内さんからの手紙、まだ読んでいなかったんだ。

須内 (伊藤の手紙を読む声。途中から須内さんの声)伊藤君、元気でいますか？ 最近、伊藤君の姿が見えないので、みんな心配しています。どんなことがあっても、イエス様につながっていれば大丈夫と思っていますけど、聖書とお祈り、忘れないでくださいね。わたしには何もできませんが、伊藤君がまた元気な顔で教会に来てくれることを毎日お祈りしています。さようなら。須内泰子。

伊藤(モノローグ) おれ、みんなに心配かけていたんだな。一人ぐらいいなくてもたいして変わらないと思っていた自分が恥ずかしいよ。このままじゃおれ、ダメになってしまう。…よし、先生とこ行ってみよう。

ナレーション 伊藤君は、教会の牧師先生に会いに行きました。

伊藤 ごめんください。伊藤です。先生いますか？

小川牧師 やあ、こんにちは、伊藤君。久しぶりだね。元気でいたかい？ ま、上がりたまえ。

伊藤 (思い切って)先生、おれ、ずっと休んでいたのは、実は…。

小川牧師 ああ、知ってるよ。この間、君のお父さんとお会いしたんだ。アルバイトをしていたんだね。

伊藤 ええ。でも、給料をもらっても、全然うれしくないし、心にいつも不安があるような…。教会に来ていた時のような、なんかこう、満足感がないんです。

小川牧師 それは、君が神様から離れていたからじゃないかな。君が働いて自分の欲しい物を買いたかったのは分かる。また、やがて経験する道の世界を知りたいという気持ちもあったんだろう。でも、いくらお金をたくさん持っていたって、心の平安は買えないんだよ。いくら自分の欲しかった物が手に入ったとしても、それは外面的なことなんだ。

伊藤 先生、おれ、なんだか自分のしていたことが、神様のみ心ではなかったような気がするんです。

小川牧師 うん。よく気がついてくれたね。アルバイトそのものが悪いわけじゃない。でもそのために、“神様を礼拝し、美言葉によって生きる”という第一のものを犠牲にすることは、いけないことだね。神様は、み子イエス・キリストをさえ、わたしたちのために与えてくださったんだ。このお方を第一にして生きるとき、わたしたちに必要なものは、神様がきつと与えてくださるんだよ、伊藤君。

伊藤 よく分かりました。おれ、今日でアルバイトやめます。来週からは、礼拝に出席します。それに先生、おれ、みんなの気持ちがとっとうれしかった。誘いに来てくれたり、電話や手紙で心配してくれて、おれの知らないところで祈ってくれたり、おれ、本当にうれしかったんです。

ナレーション よかったですね、伊藤君。次の日曜日、彼は1か月ぶりで教会に行ったんですよ。

高橋 おはよう、伊藤。久しぶりだな。

伊藤 やあ。心配かけてごめんよ。

高橋 何言ってるんだよ。

須内 よかったわあ、伊藤君。

伊藤 やあ、みんな、ごめん。おれ、今まで…。

高橋 いいんだよ、そんなこと。それより伊藤、お前、ギター欲しがってただろう。おれ、親父に誕生日のプレゼントに新しいの買ってもらったんだ。それでこれ、古いけど使ってくれよ。

伊藤 ありがとう、高橋！

ナレーション 伊藤君は、「やっぱりイエス様は生きている」って、心の中で叫びたい気持ちでした——。

聖書の言葉 だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。(マタイの福音書 6:33)

<完>